

「かきのたね」

「かみなり」

子どもたちにおやつのかきを見せました。

おもしろ
かき!
これは何か知ってる?
ほく、かき大好き!
わたしも好き!

みんなよく知ってるね。それじゃあここは何ていうかわかるかな?

これは「へた」っていうんやよ
はっげ?
ふーん。「へた」やって。
見せて。
へえ

みんなで色や形、感触を楽しんでからかきを半分に切ってみました。

まあ、見て。かきの種の中に赤ちゃんがいるよ。
わあ! 赤ちゃん、見せて。

たくさんの実をつけるかきの木も、最初は小さな赤ちゃんだったんだね。

土の中の栄養やお日さま、雨の力をもらってかきの木になるまでのストーリーに思わず目を輝かせる子どもたち。身の周りの自然に興味・関心を持ったり愛情を持ってかわる姿を温かく見守っていきたいと思っています。

1歳児の子どもたちが「暖かい日差しの中で」砂あそびを楽しんでいました。

カミナリダ...
本当だ。カミナリだね。

型抜きをしたケーキに亀裂が入っているのを見たRちゃんがつぶやきました。

今度は保育士が型抜きをしたケーキに気づいたRちゃん。目を丸くして言いました。

カミナリ。ナイガニナッタネ。
そうやね。カミナリなくなつたね。

砂の上の△の型抜きに思わずこんな言葉が飛び出しました。

オニダ!
そうだね。鬼さんのツノに見えるね。
保育士が三角の下に鬼の顔を描くと周りであそんでいた子どもたちも集まってきました。

オニサン。オコットルネ。
ウー。オコットル。
オニサン。ミセテ。
砂の型抜きからイメージがふくらんでいく楽しさに笑顔の輪が広がっていきました。

子どもたち、ひとりひとりの思いを受け取めながら好きなあそびを楽しむことが出来るよう、援助していきたいと思っています。